

平成24年度岩手県総合防災訓練の実施について

東日本大震災津波発災以降初めてとなる岩手県総合防災訓練を、9月1日(土)の防災の日に合わせて、釜石市との共催により実施します。

今回の総合防災訓練は、以下の実施方針に基づき、東日本大震災津波によって明らかになった防災上の課題に対応した実践的な訓練とします。

1 実施方針

東日本大震災津波では、多くの人命が失われたことから、二度とこのような被害を出さないよう、訓練を通じて、住民の『自助』意識に基づく避難の徹底、『共助』による円滑な避難所設置・運営体制の構築、人命救助・被災者支援を迅速に行うための防災関係機関相互の連携による『公助』の体制強化を図ることを目的に、以下の柱を実施方針として実施します。

- 住民自らが命を守るため何をすべきか考え・行動する訓練
- 参加者・機関が災害時における的確な対応を習得する訓練
- 現場活動における関係機関の連携強化に重点を置いた訓練

2 実施日時

平成24年9月1日(土) 午前9時00分から午後1時00分

3 主な訓練場所

- (1) 釜石市役所
- (2) 釜石中学校ほか市内拠点避難所
- (3) 釜石市箱崎地区、釜石市尾崎白浜地区
- (4) 岩手県立釜石商工高等学校
- (5) 岩手県立釜石病院
- (6) 釜石港沖合

4 主催

岩手県、釜石市

5 災害想定

東日本大震災津波クラスの地震・津波

6 統監(知事)の対応

統監は、従来型の訓練参観のみならず、自らが、避難所運営や上空偵察等の訓練を行い、災害発生時における現場の実態について認識を深め、今後のより実践的な災害対応に資することとします。

また、副統監(釜石市長)も、上記趣旨を踏まえ、統監と同様の行動をすることとしております。

《参加訓練予定》

- ◇避難訓練状況視察(釜石市上空) ◇孤立地域合図発信訓練(釜石市孤立地域上空)
- ◇避難所運営訓練参加(釜石中学校) ◇閉会式(釜石中学校)